

全国スボレク大会に 大山タガース出場

チームと綱引競技を通して交流を深めました。

10月17・18日の両日、富山県

射水市で行われた全国スボレク大会・男女混合綱引きの部に、大山町体協綱引部メンバーが中心となって男女混合チームを作り、『大山タガース』として出場しました。

米寿おめでとうございます

10月13日と15日の両日、今年

度に町内在住の方で米寿（満88歳）を迎えた方127人に対して町長が該当者のお宅を訪問し、祝状と記念品を贈つて祝福しました。

これは、長年にわたり町の発展に貢献された高齢者に対しても敬意を表し長寿をお祝いするものです。

該当者の角田重明・智恵子さ

ん夫妻（名和地区）、種田保人・

つねこさん夫妻（大山地区）がお二人そろって米寿を迎えた



▲会場のアルビス小杉総合体育センターで

国信八幡神社秋祭り

どちらもいい勝負！



「やつこさん」キリリとしています



地域パワー結集！ 西坪まつり

国信で古くから続く伝統の神幸祭が10月16日に行われました。これは、国信八幡神社の氏子となる国信、末吉、末長、大山口の4地区の秋祭りです。子どもから年配の方まで200人を超える勇壮な御幸行列が国信の集落を練り歩きます。

その中でも、ひと際目立つていたのは、『やつこさん』です。顔に独特な化粧をした男子児童が、威勢のよいかけ声とともにはさみ箱と草履取りの2人1組となつて行列に加わります。

御幸行列の一行は、神事場までの約600mを練り歩いた

域は珍しく、国信では今でも継続されています。子どもたちは祭りの2週間前から毎日練習をしたそうです。

森田町長（国信）が今年も行司を務め、子どもたちは家族からの声援を受けながら白熱した取り組みを披露しました。

国信自治会 青木奎司会長は、「この日のため、仕事を調整して参加してくれる人もいてありがたい」と話していました。地域を挙げての協力が、伝統行事を継続する力となっているようです。

会場では、「大山をだいせんと読んでください」とのぼり旗やTシャツを着用して試合だけでなく大山町もPR。全国の

度に町内在住の方で米寿（満88歳）を迎えた方127人に

皆さん、これからも健康に十
分留意され、毎日を明るく樂しくお過ごしください。

ました。



▲角田さん夫妻

後、神輿を祭壇に上げ、神職が

御幸行列の一行は、神事場ま

での約600mを練り歩いた

西坪公民館まつりが10月24日に行われました。集会所には、地区住民による写真、書、手芸品、生け花、自慢の骨董品などが飾られました。また、西坪地区内で出土した遺跡についての説明会も行われました。

広場では、マジックショーや餅つき、スリッパ飛ばしなど催

し物も盛りだくさん。

あいにくの雨となりました



▲子どもたちのにぎやかな声が響きます